

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

「東予総合支所玄関ホールが水族館に？」

東予総合支所の玄関ホールの水槽に瀬戸内のお魚がやってきました。これまでこの水槽では生きている化石といわれている「カブトガニ」を飼っていましたが、飼育の関係上、当分の間、東予郷土館で仲間と一緒に飼うことにしました。カブトガニをご覧になりたい方は東予郷土館までお越しください。

カブトガニが留守の間、市内の漁業後継者のみなさんのご協力により、瀬戸内海にすむ魚を飼って、実際に泳ぐ姿を見ていただくとともに、漁業への理解と瀬戸内の環境の保全への理解を深めていただきたいと思います。フグ、アコウ、ワタリガニなど魚屋さんに並んでいるもののほか、ハリセンボンやイシダイ、ハナオコゼなど、普段はあまり目にしないものなど10種類約50匹の魚が泳いでいます。

現在、西条市沿岸の漁業は後継者不足などの問題に加えて、最近の原油高によって非常に厳しい状態が続いていますが、漁業関係者の皆さんは、西条市沿岸を豊かな海にしようと稚魚の放流や藻場の再生、山林への植林などさまざまな取り組みを行い、魚資源の涵養に努めています。

東予総合支所に来られた時には、ぜひ玄関で足を止めていただき、水槽をご覧ください。昨日食べた魚が泳いでいたりするかも？



丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

「全員参加による自主防災訓練」

《下町地区》

今世紀前半にも予想されている大地震に備え、市民の防災意識の高揚が求められています。

下町地区では昨年に続いて去る7月20日に自主防災訓練が行われました。約1カ月前に各家庭へ周知のチラシを配布し、訓練の前日に集落放送で再度周知し、参加を呼びかけました。当日は、猛暑の中ではありますが、地域住民約200人の参加があり、農業用水へ通水しての水利確保やバケツリレーなど、より実践的な訓練が行われました。

8時30分の訓練開始の合図により、地域内各所から避難場所である丹原公民館前へ避難経路の確認をしながら約20分で参集を終えました。その後、自家発電機の点検・始動に始まり、消火栓からの放水訓練、参加者全員によるバケ

ツリレー、配食模擬訓練を実施後、体育館へ移動して「防災講話」を聴きました。訓練後の反省会では「農業用水の利用方法が確認できてよかった。配食演習は細かい計画を立てておくべきだった。次回には要援護者対策を含む避難訓練にしたい」などさまざまな意見が出され、有意義な訓練になりました。

近い将来に発生が予想されている「南海地震」など万一の災害に備えて日頃から防災意識を高めましょう。



下町地区の訓練の様子



小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

町内に残る篤山ゆかりのもの（伊予聖人 近藤篤山③）

町内には篤山ゆかりの場所や自筆の書など、さまざまなものが残っています。

篤山が藩校・養正館の儒官として約40年間暮らした私邸史跡近藤篤山旧邸（県指定文化財）もその一つです。平成6年に篤山の子孫である故・近藤春邦氏から屋敷部分の寄贈を受けた当時の小松町が修復整備を行い、平成11年から一般公開されています。書斎や座敷などを見学しながら、篤山



の人物像や教育精神、小松町の文化等について映像や資料などで学ぶことができます。

篤山自筆の書も市内外に数多く残されており、小松温芳図書館には、市指定文化財の「三幅対」や三戒の教えを書いた書、篤山の楽しみであった和歌などが収蔵されています。これらの書に加えて篤山愛用の品々なども保存され、同図書館郷土資料室では特別展を開催するときに展示されることがあります。（三幅対と三戒の教えの書は、篤山邸でレプリカをご覧ください）

ほかにも篤山ゆかりの場所として、篤山の両親と孫のお墓がある本善寺、春には桜を見に行ったという仏心寺、小松藩陣屋跡の碑、小松高校（養正ヶ丘）にある篤山の墓所などが篤山旧邸の近くにあります。

皆さんも、篤山の足跡を追って歩いてみませんか。